平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年２月３日

上場会社名　株式会社エフ・ジェー・ネクスト　上場取引所　東
コード番号　8935　ＵＲＬ　http://www.fjnext.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）肥田　幸春
問合せ先責任者　（役職名）取締役 管理本部長 兼 経営企画室長　（氏名）永井　敦　ＴＥＬ　03-6733-7711
四半期報告書提出予定日　平成26年２月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	26,414	19.3	3,597	38.9	3,555	40.4	2,591	77.6
25年３月期第３四半期	22,136	0.9	2,588	△10.9	2,532	△10.2	1,459	5.0

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　2,586百万円（75.8%）　25年３月期第３四半期　1,471百万円（5.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	81.07	－
25年３月期第３四半期	46.88	－

（注）当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第３四半期	36,154	24,242	67.1	701.14
25年３月期	32,443	20,109	62.0	646.08

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　24,242百万円　25年３月期　20,109百万円

（注）当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	7.00	－	9.00	16.00
26年３月期	－	5.00	－		
26年３月期（予想）				8.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。平成26年３月期の１株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。

なお、分割を考慮しない場合の年間配当額は、26円00銭（第２四半期末：10円00銭　期末：16円00銭）となります。

また、各期末配当金の内訳は以下のとおりです。

平成25年３月期期末配当金の内訳　普通配当　８円00銭　特別配当　１円00銭

平成26年３月期期末配当金（予想）の内訳　普通配当　５円00銭　東証一部指定記念配当　３円00銭

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,300	19.7	4,500	15.4	4,450	16.5	2,800	27.1	85.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。

また、当社は平成25年10月21日を払込期日とする公募による新株式発行（1,700,000株）及び自己株式の処分（1,000,000株）、並びに平成25年11月12日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行（750,000株）を実施いたしました。

従って、一株当たり当期純利益につきましては、以上を考慮して算出しております。

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P.３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	34,646,500株	25年３月期	32,196,500株
② 期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	70,857株	25年３月期	1,070,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	31,968,954株	25年３月期３Ｑ	31,125,700株

（注）当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。発行済株式数（普通株式）につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（１）業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（２）公募増資、第三者割当増資について

当社は平成25年10月21日を払込期日とする公募による新株式発行（1,700,000株）及び自己株式の処分（1,000,000株）、並びに平成25年11月12日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行（750,000株）を実施いたしました。

従って、一株当たり当期純利益につきましては、以上を考慮して算出しております。

（３）株式分割について

当社は、平成25年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。これに伴う平成26年３月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

（４）金額の表示単位の変更

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第３四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策が功を奏し、企業収益や雇用情勢が改善しており、海外景気の下振れや消費税増税が国内景気を下押しするリスクはあるものの、緩やかな景気回復基調にあります。

不動産業界におきましては、住宅ローン減税や不動産価格の先高観等を背景に、平成25年の首都圏におけるマンションの年間供給戸数は前年比23.8%増の５万6,476戸となり（株式会社不動産経済研究所調べ）、堅調に推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」、及びファミリーマンションの自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第３四半期連結累計期間は、売上高264億14百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益35億97百万円（前年同四半期比38.9%増）、経常利益35億55百万円（前年同四半期比40.4%増）、四半期純利益25億91百万円（前年同四半期比77.6%増）となりました。

なお、当社は平成25年10月22日をもちまして、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されましたので、併せてお知らせいたします。これもひとえに株主様をはじめ、これまでお力添えいただいた多くの皆様方の温かいご支援の賜物と心より感謝申しあげます。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、「ガーラマンションシリーズ」、「ガーラ・レジデンスシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション364戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高177億23百万円（867戸）、ファミリーマンション売上高29億３百万円（81戸）、その他収入33億７百万円となり、不動産開発事業の合計売上高239億34百万円（前年同四半期比21.3%増）、セグメント利益30億７百万円（前年同四半期比35.5%増）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高12億74百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益４億91百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、厳しい受注環境が継続しているものの、地道な営業活動を続けた結果、売上高は８億66百万円（前年同四半期比8.0%減）、セグメント利益85百万円（前年同四半期は26百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、集客が順調に推移し、売上高３億39百万円（前年同四半期比28.2%増）、セグメント利益１百万円（前年同四半期は39百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は333億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億72百万円増加いたしました。これは主に、仕掛販売用不動産が46億75百万円、受取手形及び営業未収入金が５億54百万円増加した一方、販売用不動産が14億19百万円減少したことによるものであります。固定資産は28億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億62百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が１億37百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は361億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億10百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は65億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億18百万円増加いたしました。これは主に、１年内返済予定の長期借入金が８億64百万円、預り金が74百万円増加した一方、未払法人税等が８億86百万円減少したことによるものであります。固定負債は53億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億41百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が５億25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は119億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億22百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、242億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億32百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益25億91百万円であり、減少は剰余金の配当２億95百万円によるものであります。また、新株式の発行及び自己株式の処分により、資本金が９億15百万円、資本剰余金が７億９百万円増加し、自己株式が２億16百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は67.1%（前連結会計年度末は62.0%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年９月10日発表の予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,368	11,433
受取手形及び営業未収入金	1,213	1,767
有価証券	2	3
販売用不動産	5,669	4,249
仕掛販売用不動産	10,384	15,059
未成工事支出金	6	13
原材料及び貯蔵品	7	11
前渡金	145	90
繰延税金資産	370	321
その他	297	387
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	29,460	33,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	902	925
減価償却累計額	△390	△431
建物及び構築物（純額）	511	494
土地	467	469
その他	247	248
減価償却累計額	△195	△196
その他（純額）	51	52
有形固定資産合計	1,030	1,016
無形固定資産	93	82
投資その他の資産		
投資有価証券	228	220
繰延税金資産	393	309
その他	1,247	1,201
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,859	1,721
固定資産合計	2,982	2,820
資産合計	32,443	36,154

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388	389
1年内返済予定の長期借入金	2,781	3,645
未払金	322	266
未払法人税等	963	76
未払消費税等	111	104
預り金	1,333	1,408
賞与引当金	123	123
その他	409	538
流動負債合計	6,431	6,550
固定負債		
長期借入金	3,332	2,807
退職給付引当金	251	242
役員退職慰労引当金	646	675
長期預り敷金保証金	1,598	1,564
長期預り金	73	70
その他	0	0
固定負債合計	5,902	5,360
負債合計	12,334	11,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	2,774
資本剰余金	2,345	3,054
利益剰余金	16,114	18,410
自己株式	△232	△15
株主資本合計	20,087	24,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	17
その他の包括利益累計額合計	22	17
純資産合計	20,109	24,242
負債純資産合計	32,443	36,154

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	22,136	26,414
売上原価	15,650	18,763
売上総利益	6,485	7,651
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	358	337
給料手当及び賞与	1,366	1,395
賞与引当金繰入額	142	120
退職給付費用	34	41
役員退職慰労引当金繰入額	23	28
その他	1,970	2,130
販売費及び一般管理費合計	3,896	4,054
営業利益	2,588	3,597
営業外収益		
受取利息	4	9
違約金収入	7	10
助成金収入	2	2
その他	9	4
営業外収益合計	23	26
営業外費用		
支払利息	68	48
株式交付費	－	17
その他	11	2
営業外費用合計	80	68
経常利益	2,532	3,555
特別利益		
受取補償金	6	－
特別利益合計	6	－
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	0	－
会員権評価損	3	－
特別損失合計	3	－
税金等調整前四半期純利益	2,534	3,555
法人税、住民税及び事業税	1,014	828
法人税等調整額	61	135
法人税等合計	1,075	963
少数株主損益調整前四半期純利益	1,459	2,591
四半期純利益	1,459	2,591

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,459	2,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△4
その他の包括利益合計	12	△4
四半期包括利益	1,471	2,586
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,471	2,586
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年９月30日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月21日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式の処分並びに平成25年11月12日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当による新株式発行を実施しました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間において資本金が915百万円、資本剰余金が709百万円増加、自己株式が216百万円減少し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が2,774百万円、資本剰余金が3,054百万円、自己株式が15百万円となっております。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,726	1,203	941	264	22,136	－	22,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	219	470	5	705	△705	－
計	19,736	1,423	1,412	269	22,842	△705	22,136
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,220	430	△26	△39	2,584	4	2,588

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額4百万円には、セグメント間取引消去26百万円、たな卸資産及び固定資産の調整額△21百万円が含まれております。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,934	1,274	866	339	26,414	－	26,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	247	693	5	951	△951	－
計	23,939	1,522	1,560	344	27,366	△951	26,414
セグメント利益	3,007	491	85	1	3,586	10	3,597

（注）１．セグメント利益の調整額10百万円には、セグメント間取引消去23百万円、たな卸資産及び固定資産の調整額△12百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。